

## - 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

大型連休中は帰省等による人の往来や会食の機会が増え、感染リスクの高まりが懸念されるため、不織布マスクの正しい着用やこまめな手洗い、手指消毒といった基本的な感染予防対策をより一層励行しましょう。また、人が集まる場所では定期的な換気を徹底しましょう。会食を行う際には、①大人数や長時間を避ける、②1週間以内に感染リスクの高い行動をとった方や、体調のすぐれない方は出席しない等、会食ルールの順守にご協力をお願いします。発熱や咳に限らず鼻水や喉の痛み、倦怠感など、軽い風邪のような症状であっても症状のある方は必ず人との接触を避け、かかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター (089-909-3483)」へ事前に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ➡



## 発生動向の概況

**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は、第14週0.3人、第15週0.4人と横ばいで推移しています。この疾患の主な症状は、発熱、全身倦怠感、咽頭痛などですが、肺炎や髄膜炎、敗血症などの合併症をおこすこともあります。春から初夏にかけて報告数が増加する傾向がありますので、うがいや手洗いを励行し感染予防に努めましょう。

**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は、第14週4.6人から第15週5.7人と増加しました。地域別にみると、八幡浜保健所で急増しています。春から初夏にかけて報告数が増加する傾向がありますので、調理・食事の前、トイレの後は液体せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。患者の嘔吐物やふん便を処理する際は、使い捨てのガウン(エプロン)、手袋、マスクを着用し、汚染された物品については、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系の漂白剤)で消毒しましょう。

## 県内での感染症発生状況

**全数把握感染症** ※医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

二類感染症：結核 5例

五類感染症：後天性免疫不全症候群 1例(無症状病原体保有者、20歳代男性、推定感染経路：同性間性的接触、推定感染地域：国内)  
侵襲性肺炎球菌感染症 1例(80歳代女性)  
梅毒 3例(30歳代男性、40歳代男性2例) 2022年県内累計37例)

新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 3,863例

\*その他、新型コロナウイルス感染症の届出が第8週に1例、第11週に1例、第12週に3例、第13週に19例ありました。

**定点把握感染症** (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
RSウイルス感染症	➡ 0.4	横ばい。今治保健所で多い。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡ 0.4	横ばい。
感染性胃腸炎	➡ 5.7	増加。八幡浜保健所で急増。

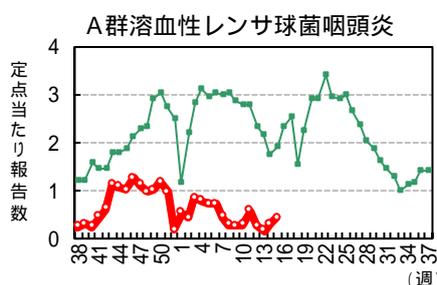
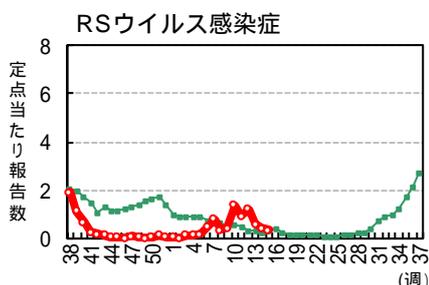
## 解析評価委員のコメントから

RSウイルス感染症：[東予] 今治市でみられています、減少しています。西条市はあまりいません。  
[中予] ほとんど流行っていません。 [南予] 報告はありません。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：[東予] たまにみられますが、少ないです。 [中予] あまり流行っていません。  
[南予] 少数発生が続いています。

感染性胃腸炎：[東予] 軽症が多いですが、まだみられています。 [中予] やや増加しています。  
[南予] 相変わらず発生が続いています。

過去30週の動向 (➡ : 過去30週の動向、➡ : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。  
感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.lg.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.lg.jp) までお願い致します。

- 第11週及び第13週に今治で採取された感染性胃腸炎患者検体からノロウイルス（G）とサポウイルスの重複感染が1例、ノロウイルス（G）が1例検出されました。

ノロウイルス及びサポウイルスは、感染性胃腸炎の原因ウイルスの一種で、主に食品や、感染者のふん便、吐物に汚染された調理器具等を介して経口感染します。食品からの感染を防ぐには、85℃以上の高温で1分以上の加熱が必要です。また、感染者の吐物等で汚染された物品の消毒には、次亜塩素酸ナトリウムが有効です。感染予防のため、調理・食事の前、トイレの後は、液体せっけんと流水で十分に手洗いをしましょう。

- 第14週に松山市で採取された感染性胃腸炎患者検体からカンピロバクター（カンピロバクター・ジェジュニ（*C. jejuni*））が検出されました。Pennr法による血清型はR群でした。

カンピロバクターは、動物、特に鶏の腸内に常在する菌で、感染すると下痢、腹痛、発熱、嘔吐等の胃腸炎症状を呈します。愛媛県食肉衛生検査センターの調査\*によると、平成20～26年の間に県内で流通していた鶏肉の42%がカンピロバクターに汚染されていたことが報告されています。さらに近年では、ニューキノロン系薬剤に対して耐性を示す菌が増加しており、世界的な問題となっています。カンピロバクターの予防には、食肉を十分加熱すること、食肉を取り扱った調理器具等は使用後に洗浄、殺菌を行うこと等が重要です。 \*平成27年度四国四県食品衛生監視員研修会資料

県内の感染性胃腸炎の流行状況については県ホームページをご確認ください。⇒ 『感染性胃腸炎の流行状況（2021/2022シーズン）』



過去5週 検出病原体

（2022年3月14日以降採取検体）

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
11	3/14～3/20	今治	感染性胃腸炎	ノロ・サポ	糞便	1
13	3/28～4/3	今治	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1
14	4/4～4/10	松山市	感染性胃腸炎	カンピロバクター	糞便	1

月別病原体検出結果

検体採取月		2021		2022				合計
検出病原体		11	12	1	2	3	4	
ウイルス	コクサッキーA6	8	2					10
	ライノ	1						1
	ノロ		2		1	2	1	6
	サポ					1		1
	アデノ37			1				1
ウイルス計		9	4	1	1	3	1	19
細菌	カンピロバクター						1	1
	A群溶レン菌		1					1
細菌計			1				1	2

臨床診断別検出結果（2022年2月以降採取検体）

検出病原体	感染性胃腸炎	合計
ノロ	4	4
サポ	1	1
ウイルス計	5	5
カンピロバクター	1	1
細菌計	1	1

注) 表中の検出数は4月19日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

# 愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第15週 (2022.4.11～4.17)

	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点								
	1)			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)			1)	
	インフルエンザ	迅速検査A型	迅速検査B型													ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	インフルエンザ(入院)			
患者報告数																								
保健所別	四国中央						12	1			2			-	-									四国中央
	西条					4	47	1			3													西条
	今治			10			35				3				1									今治
	松山市				2		57	1		1	2		2		3		-	-	-	-	-	-		松山市
	中予				3		7	16			6													中予
週推移	八幡浜						26			3														八幡浜
	宇和島					4	11		1															宇和島
	愛媛県				13	2	15	204	3	1	1	19		2		4								愛媛県
	1週前	1	1		16	3	11	166	3	1		11			2									1週前
2週前				22	1	5	244	1	2	2	12		2		7								2週前	
3週前				44	2	9	275				9		1										3週前	
年齢別	0-5ヶ月				1		1																	0
	6-11ヶ月				2	1	1	8																1-4
	1				5			31		1	1	13											5-9	
	2				3		2	32				3											10-14	
	3				1	1		30															15-19	
	4				1		1	23	1														20-24	
	5						2	12															25-29	
	6							8															30-34	
	7						4	9	1					1									35-39	
	8						1	7															40-44	
	9						4	8															45-49	
	10-14							16	1															50-54
	15-19							4								1								55-59
20-29 <sup>5)</sup>							15								1								60-64	
30-39															1								65-69	
40-49																							70-	
50-59																								
60-69																								
70-79 <sup>6)</sup>															1									
80-																								

### 定点当たり報告数

保健所別	四国中央		-	-			4.0	.3			.7			-	-								四国中央	
	西条		-	-			.7	7.8	.2			.5											西条	
	今治		-	-	2.0			7.0				.6			1.0								今治	
	松山市		-	-		.2		5.7	.1		.1	.2		.2	1.0		-	-	-	-	-	-		松山市
	中予		-	-	.8		1.8	4.0				1.5												中予
愛媛県	八幡浜		-	-			6.5				.8												八幡浜	
	宇和島		-	-			1.0	2.8		.3													宇和島	
愛媛県		-	-	.4	.1	.4	5.7	.1	.0	.0	.5		.1	.5									愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。  
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。  
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。  
 4) オウム病を除く。  
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。  
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。  
 \*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

### (参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は4月20日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

注2) 今週は休診により1機関からの報告がなかったため、松山市保健所のインフルエンザ・小児科定点数はそれぞれ16・10となっています。

# 愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第14週 (2022.4.4 ~ 4.10)

	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点									
	1)			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)		1)		
	インフルエンザ	迅速検査A型	迅速検査B型														ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎			インフルエンザ(入院)	
患者報告数																									
保健所別	四国中央	1	1				8				1					-	-								四国中央
	西条					1	46	1			3														西条
	今治			15	1		29		1		2				1										今治
	松山市			1	2	1	55	1			2							-	-	-	-	-	-	-	松山市
	中予					6	6				2														中予
	八幡浜						10	1																	八幡浜
	宇和島					3	12				1				1										宇和島
週推移	愛媛県	1	1	16	3	11	166	3	1		11				2										愛媛県
	1週前			22	1	5	244	1	2	2	12		2		7										1週前
	2週前			44	2	9	275				9		1												2週前
	3週前	1		34	1	21	278	3			16		1		3										3週前
年齢別	0-5ヶ月			1	1																				0
	6-11ヶ月			1		1	9		1		6														1-4
	1			3	1		18	1			4														5-9
	2			4		2	33																		10-14
	3			2	1		24				1														15-19
	4			5		1	26																		20-24
	5					2	5																		25-29
	6					1	9																		30-34
	7					1	7																		35-39
	8					2	7																		40-44
	9					1	6																		45-49
	10-14						10	2																	50-54
	15-19						3																		55-59
	20-29 <sup>5)</sup>						9							1											60-64
	30-39																								65-69
	40-49																								70-
	50-59																								
	60-69																								
	70-79 <sup>6)</sup>	1	1																						
	80-																								

### 定点当たり報告数

保健所別	四国中央	-	-				2.7				.3			-	-									四国中央
	西条	.1	-				7.7	.2			.5													西条
	今治	-	-	3.0	.2		5.8		.2		.4				1.0									今治
	松山市	-	-	.1	.2	.1	5.5	.1			.2					-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
	中予	-	-			1.5	1.5				.5													中予
	八幡浜	-	-				2.5	.3																八幡浜
	宇和島	-	-			.8	3.0				.3				1.0									宇和島
	愛媛県	.0	-	.4	.1	.3	4.6	.1	.0		.3				.3									愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。  
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。  
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。  
 4) オウム病を除く。  
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。  
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。  
 \*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

### (参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は4月13日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

注2) 今週は休診により1機関からの報告がなかったため、松山市保健所のインフルエンザ・小児科定点数はそれぞれ16・10となっています。



全国 定点把握感染症 2022年 第13、14週 (2022.3.28 ~ 4.10)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
13 週	愛媛県	.6	.0	.1	6.8	.0	.1	.1	.3		.1		.9						
	近畿 香川県		.1	.1	2.9	.0	.0		.4	.0			.2			.2	.2		
	徳島県		.1	.1	2.0	.0			.3								.1		
	高知県	.0	.1	.1	1.8	.1			.1				.3						
	全 国	.0	.1	.1	2.8	.1	.1	.0	.3	.0	.0	.0	.1	.0	.0	.0	.0	.0	
	北海道	.0	.4	.1	.3	.9	.0	.0	.1		.0		.1				.0		
	東北	.0	.0	.1	.2	2.1	.1	.0	.3	.0	.0		.1	.0		.0	.0		
	関東	.0	.0	.0	.2	3.1	.1	.0	.3	.0	.0	.0	.2		.0	.0	.0	.0	
	甲信越北陸	.2	.1	.4	2.9	.1	.2	.0	.4	.0	.0		.1						
	東海	.0	.2	.0	.1	2.6	.0	.0	.2	.0	.0		.1			.0	.1		
	近畿	.0	.0	.1	.2	2.1	.0	.0	.3	.0	.0	.0	.1						
	中国四国	.0	.1	.1	.2	3.3	.1	.1	.3	.0	.0		.2	.0	.0	.0	.0		
	九州沖縄	.3	.1	.4	4.1	.1	.2	.0	.5	.0	.0		.2		.0	.0	.0		

(4.6集計)

14 週	愛媛県	.0	.4	.1	.3	4.6	.1	.0	.3				.3					
	近畿 香川県			.0	.2	4.0	.1		.6		.1							
	徳島県			.0		2.0	.0	.0	.3									
	高知県			.1	.1	1.5	.1	.0	.4				.3				.1	
	全 国	.0	.1	.1	.2	2.9	.1	.1	.3	.0	.0	.0	.2		.0	.0	.0	.0
	北海道		.2	.1	.4	1.3	.1	.0	.2	.0	.0	.0	.1		.0		.0	
	東北		.0	.1	.2	2.5	.1	.0	.3		.0		.2		.0	.0		
	関東	.0	.0	.0	.1	3.1	.1	.0	.3	.0	.0		.2		.0	.0		.0
	甲信越北陸	.0	.1	.1	.3	2.9	.1	.2	.2	.0	.0		.1				.0	
	東海	.0	.2	.0	.2	2.4	.0	.0	.3	.0	.0		.1			.0	.0	
	近畿	.0	.0	.1	.2	2.0	.1	.0	.3	.0	.0		.1		.0	.0	.0	
	中国四国	.0	.1	.1	.3	3.6	.1	.1	.3	.0	.0		.2		.0		.0	
	九州沖縄	.0	.3	.2	.3	4.4	.1	.2	.5	.0	.0		.3		.0		.0	

(4.13集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

